

活動タイトル	子宝の島で地域の絆を育み子どもたちの健やかなる成長を!!		団体名	NPO法人親子ネットワークがじゅまるの家	
<p>1年間の活動(アウトプット)の目標(事業全体)</p>	<p>①出張広場の開催(全9回) 地域の人材を起用した親子のつどいの広場を開催し、地域の子育て経験者をボランティアスタッフとして起用。</p> <p>②家庭訪問型子育て支援(ホームスタート)の実施(随時) 訪問目標件数として3件程度(1件につき7回の訪問)を設定。</p> <p>③広報活動(年12回実施) 保健センターでの乳幼児健診時に広報、および、ポスター及びチラシ等を掲示、配布。</p> <p>④出張型の広場のボランティアスタッフ育成</p>			<p>■活動風景</p>	
<p>●出張広場の開催 地域の方をイベント講師とした未就園児の親子のつどいの広場を開催。さらに地域の子育て経験者をボランティアスタッフとして起用したイベントを開催した。</p> <p>●家庭訪問型子育て支援(ホームスタート)の実施 研修を受けた子育て経験者(ボランティア)が6歳未満のお子さんのいる家庭及び妊婦さんへ家庭訪問型の子育て支援を行った。</p> <p>●広報活動 保健センターへのポスター掲示。また、乳幼児健診時に個別にチラシを用いた広報活動を行った。</p> <p>●出張型の広場のボランティアスタッフ育成 子育て経験者を出張広場のボランティアスタッフとして起用し、イベントおよび子育て中の親子の支援を行った。</p>	<p>■1年間の目標に対する達成状況</p> <p>●出張広場の開催 年間を通して9回開催。計画通りの内容で実施できた。9回の開催で合計28組の利用となり、5組以上の利用者がいたのは2回であった。利用者の満足度は85.6%で目標としていた75%を上回った。</p> <p>●家庭訪問型子育て支援(ホームスタート)の実施 2件の訪問で目標の3件には至らなかった。評価シートでの充足度は1件目が100%であり、目標の90%より上回った。2件目は訪問途中で充足度を出すことができなかった。</p> <p>●広報活動 9回の実施で目標の12回の実施はできなかった。毎回、健診にきている親子全員に広報することができた。</p> <p>●出張型の広場のボランティアスタッフ育成 自己評価が3段階以上で目標を達成することができた。また、人材育成表を作成し、各回の目標及び実施内容を具体的に立てて実施することができた。</p>		<p>三味線あそびの風景</p>	 <p>2019年4月23日 三味線あそびを開催して、5組の親子が参加</p>	
<p>■1年間の活動のまとめ</p> <p>○当初の予定通り、出張広場、家庭訪問型子育て支援(ホームスタート)、広報活動、ボランティアスタッフの育成を実施することができたが、目標達成には至らなかった。</p> <p>○活動を通じて、子育て中の親子に出張広場の活動が少しずつ広まっていき新規の利用者が増えてきた。また、家庭訪問型子育て支援の利用から出張広場の利用につながった親子もいた。</p> <p>○これまでの保健センターでの広報活動を通して、家庭訪問型子育て支援につながった事例もあった。また、家庭訪問型スタッフの人材育成では、出張広場のボランティアスタッフとして活動していた人材が子育て支援拠点のスタッフとして活動している。3~5年後の団体の目標としていた子育て支援拠点の立ち上げにつなげることができた。</p>	<p>■事業を通じて得られたノウハウ</p> <p>○子育て中の親子へ周知していくためにポスターやチラシだけの広報ではなく、SNSでの発信も必要であることが分かった。</p> <p>○利用者へのアンケート実施で満足度の内容について把握できたが、反面、支援者として課題についても把握することができた。</p> <p>○スタッフの自己評価をすることで支援者としての役割を再確認し、今後の課題克服のための材料となった。</p> <p>○人材育成をしていくにあたって、具体的な目標や内容を計画することで各回の反省点を次回以降に改善していくことにつながった。</p>	<p>■実施した人材育成策</p> <p>○年度初めに今年度の目標設定に対してスタッフの面談を実施した。</p> <p>○業務日誌を作成し、日々の業務内容の反省をすることで次回以降の改善につなげた。</p> <p>○定期的に自己評価を実施し、個別面談を実施した。</p> <p>○自己研鑽のため、職場内でモチベーションアップにつながる研修を実施した。</p> <p>○家庭訪問型スタッフのフォローアップ研修や産前産後支援研修へ参加した。</p>	<p>■活動成果のアピールポイント(自由記入)</p> <p>この1年間の活動を通じて</p> <p>家庭訪問型子育て支援による充足度、出張広場利用者の満足度、子育て支援拠点のスタッフの育成</p> <p>を達成しました。</p>		
<p>■受益者の変化(効果測定結果等)</p>				<p>○出張広場の利用者 継続的な開催により、地域の方と触れ合うことができた。また、親同士や子育て経験者であるスタッフと育児相談をすることができた。</p> <p>○家庭訪問型子育て支援の利用者 一人ひとりに寄り添った支援により、お母さんたちが元気になる、孤立感が軽減している様子が見られた。また、子育て支援拠点を利用するきっかけとなった。</p>	